

伯刺西爾時報號外(第四報)

Director-Masahiro Samesima Proprietario Seisaku Kuroishi
BI-SEMANARIO Redacção e Administração
S. Paulo 1 de Março de 1936 Rua Fagundes, 178 - Tel. 7-4670 No 1.162

岡田首相は健在



遭難者は義弟の松尾秘書と

昨日に至り判明

「昨二十九日午後二時總領事館入電」本事件に於て岡田首相遭難の報は信ぜられ居りたる處、遭難者は義弟の松尾秘書にして、首相は安全に生存せる事判明せり

岡田首相参内

〔東京一日ラヂオ〕けふ、岡田首相以下各閣僚は、午前十一時半閣議を開き、今回の兇變に關し、政府は重要協議を遂げ、午後一時半岡田首相は宮中に参内天機を奉伺して退出した

松尾秘書に

叙位の御沙汰

〔東京一日ラヂオ〕岡田首相に身代

けふ・更に

軍参議官集會

軍部巨星の往來頻繁

〔東京一日ラヂオ〕けふを聞き、皇軍の現状に付午前十一時半軍事参議官、眞崎、荒木、阿部其他各方同十一時半町田大將は陸軍側参議官は九段階交河合大將を訪問し、軍部に非公式に参議官會議巨星の往來頻繁

夜間演習とて出動

第一、三聯隊の大尉以下九百名

〔昨廿九日午後五時總領事館入電〕今回の事件は第一師團第一聯隊及び第三聯隊の青年將校大尉以下が中心となり兵約九百

りとして首相官邸で殺戮された。弟に對し、けふ長き遠路では叙位を賜ふ。岡田首相は、位の御沙汰あり、從七位を賜つた

兇變突發を謝す

續いて岡田首相聲明

〔東京一日ラヂオ〕今回宸襟を惱まし、下國の兇變に關し、岡田首相は所報の閣議後聲明書を發表し、不祥事件の突發を天下に謝した。其の要旨、今回の不祥事件の突發は、上は命令の布告を見たるも治安回復の速かりしは、一に御稜威の然らしむる處で、今後政府は國民と一致、矯激に巨らず、國威の顯揚を期す

暴動隊の

武装解除

〔昨廿九日午後二時總領事館入電〕廿九日午後一時暴動は完全に平定せられ、全部の武装解除を終り、將校全部十數名を陸相官邸に收容せり

内府後任問題に

西園寺公

湯淺宮相と會談
内大臣の後任に關し昨日西園寺公は湯淺宮相と會見種々打合せを行つた

鈴木侍從長

容態良好

〔東京廿九日〕又徒の襲撃により重傷を負ひ危篤を報せられた鈴木侍從長は其の後宮内者の發表に依れば經過漸次良好とのこと、なほ牧野前内府は未だに行術不明である

占據地域の

大、公使館

動搖せず

〔廿九日午後六時總領事館入電〕東京に在る大公使館は事件開始以來終始不安を感じたる様子なく「メキシコ」「ポルトガル」(何れも避難地帯なり)は一時立退きたるも獨(地域内)英、米(共に地域に接近す)は當局の措置に信頼して避難せず、何等苦情の申出もなく關係當局の適切なる措置を信頼し居れり